

その常識、間違っている!?

突発性難聴のホントのはなし



耳鳴りやめまいも、突発性難聴が原因?

急に聞こえなくなったら、突発性難聴ではば間違いない?

突発性難聴は再発しない?



監修 園 茂樹 先生

宇部内科小児科医院院長、総合内科専門医、医学博士、1982年日本大学第一医科大学院修了、カナダ州立オンタリオがんセンター首席、那須中央病院内科部長、千代田県ワクリック院長を経て現職、東洋医学にも詳しい、総合内科専門医として幅広い診療をモットーとする。

取材協力：ディーバック株式会社

前ぶれもなく突然、片方の耳が聞こえなくなる突発性難聴。近年、ミュージシャンの休業理由などでよく聞くようになりました。今回は突発性難聴の治療方法や似た症状の病気について、総合内科専門医の園茂樹先生にお聞きしました。

突発性難聴にまつわる疑問

耳鳴りやめまいも、突発性難聴が原因?

突発性難聴では難聴以外に耳鳴りやめまい、吐き気、嘔吐といった症状をともなうことがあります。ただし、ほかの原因も考えられ、難聴とめまいが起る代表的な病気には、メニエール病もあります。突発性難聴によるめまいの特徴は、難聴が発症する前や後の一時的なもので、繰り返して起るわけではないこと。また一般的に、めまいをともなう突発性難聴は治りにくく、完治が難しいといわれています。

急に聞こえなくなったら、突発性難聴ではば間違いない?

急に聞こえなくなる、または聞こえづらくなるのは突発性難聴の主な症状です。しかし、メニエール病や聴神経腫瘍なども難聴を併発するため、診断の確定には検査が必要。おおまかな区別のポイントとしては、メニエール病の場合は難聴やめまいが発作のように繰り返して起ります。聴神経腫瘍の場合は、難聴を含めて症状は徐々に強くなっていきます。

突発性難聴は再発しない?

一般的に、突発性難聴は再発しないといわれています。しかし、完治したように感じていても再び同じ症状が出ることもあるかもしれません。ただし、症状が再発した場合は、もともと突発性難聴でなく、別の病気が隠れていた可能性を疑ってみるのが原則。また再発とは異なりますが、いったん突発性難聴にかかると症状が完治せず後遺症として残ることも。

現在も原因が未解明
完治には至急の受診を

厚生労働省の診断基準によると、突発性難聴は、「突然の、文字通り即時の難聴。または朝、目が覚めて気づくような難聴。あるいは「原因が不明、または不確実な難聴」を指す病名。そのため、原因がはっきりしている難聴は突発性難聴とは診断されません。全国で年間およそ3万5000人（人口100万人あたり27.5人）が突発性難聴を発症していると推定されます（同省の調査による）。

突発性難聴の原因は、まだ医学的に解明できておらず、有力とされるのはウイルス感染と内耳循環障害（血流の不足）、ストレスが原因のふたつといわれることもありますが、少なくともそれが直接の原因とまでは、医学的に特定できていません。しかしストレスがウイルスを活性化させたり、血管を収縮させて血流を阻害させたりする考えられるため、ストレスが発症の引き金になるリスクが指摘されています。

万が一の発症に備えて知っておくべきは、完治する患者が4割ほどにとどまらず、完治しない患者も少なくありません。完治するためには発症後48時間以内の治療が望ましいといわれています。もしも症状を自覚したら、至急、医療機関を受診するべきとされています。覚えておいてください。

突発性難聴ってどんな病気?

Check!

こんな傾向はありませんか?

- 今まで聞こえにくさを感じたことはない
- 生活が不規則である
- 最近、強いストレスを感じるようになった
- 手足の冷えが気になる
- 音楽や映画をイヤホンで大音量で聴くのが好き

特徴

突然に発症することや高度な難聴（ほとんど聞こえない）が典型的な特徴です。中には聞こえないだけでなく、耳閉感（耳が詰まった感じ）を訴える人もいます。ほとんどは片耳だけに起こり、さらに副症状として、耳鳴り、めまい、吐き気・嘔吐も。主な発症年齢は40～60代、再発はしないといわれますが、完治率は約40%で、ある程度の難聴などの症状が残る人は少なくありません。残念ながら、ほとんど改善しない例も見られます。

難聴をともなうその他の病気

メニエール病では、難聴のほか耳鳴り、めまい、耳閉感を発作的に繰り返します。聴神経腫瘍は良性の脳腫瘍で、症状は難聴、耳鳴り、めまい、ふらつきなど、少数ながら、前半で聴力低下も。子どもと高齢者に多い滲出性中耳炎は、症状が両耳の難聴、耳閉感、耳鳴りなど、固まった耳垢にふさがれて難聴になる、耳垢塞栓という病気もあります。

治療法は?

48時間以内の
投薬治療が重要

突発性難聴の治療には、炎症や免疫の暴走を抑えるステロイド剤の投与をおこないます。治療は発症後48時間以内を開始することが、完治の可能性を高めるために重要とされています。糖尿病がある人は、血糖値上昇の副作用管理が必要となります。

予防法は?

規則正しい生活で
心身のストレスは減らすこと

原因の有力説であるウイルスの活動や内耳の血流阻害を助長しないことが大切。食事の栄養バランスに注意し、日中十分な睡眠を、お酒や喫煙は控えるために、また過労を避け、ストレスの軽減を心がけることもプラスになります。予防の大前提は、健康的な生活というわけですが、また音楽を大きな音で長時間聴くといった習慣も、できるだけ避けたい方が良いでしょう。

